科目コード	E402
授業科目名	化学工学
授業科目名(英文)	Chemical Engineering
講義室等	6206
学科	産業衛生科学科
対象学年	4年
開講学期	後学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎産DP-3・労働衛生工学
該当コンピテンス	◎産CP-5、○産CP-8、△産CP-6
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	石田尾 徹
授業の概要	作業環境中には粉じん、有機溶剤などの化学物質が存在する。また、溶剤が蒸発すると環境中に蒸気が発散し、環境を汚染する。これらの化学物質の挙動を把握し、工学的対策を実施するには、化学工学の知識が有用である。このような作業環境に関連の深い化学工学の基礎知識を理解する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 物質収支、エネルギー収支などの基礎について理解できる。 2. 化学工学的な考え方の基礎について理解できる。 3. 化学工学と作業環境管理、作業管理との関連について理解できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	各コマの課題(20%)を全て提出の上、最終試験(80%)により60点以上を合格とする。
教科書	独自に作成する手引書を配付する。
参考書	特に無し
その他	関数電卓を用意すること。

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R7.10.7	火	II	化学工学の基礎、物質収支	講義・演習	石田尾 徹		
				予習 化学工学を調べる				
				復習 課題の作成				
2	R7.10.14	火	II	伝熱工学①	講義・演習	石田尾 徹		
				予習 資料を読んでおくこと				
				復習 課題の作成				
3	R7.10.21	火	II	伝熱工学②	講義・演習	石田尾 徹		
				予習 資料を読んでおくこと				
				復習 課題の作成				
4	R7.10.28	火	II	物質分離	講義・演習	石田尾 徹		
				予習 資料を読んでおくこと				
				復習 課題の作成				
5	R7.11.11	火	II	吸着工学	講義・演習	石田尾 徹		
				予習 資料を読んでおくこと				
				復習 課題の作成				
6	R7.11.18	火	II	粉体工学①	講義・演習	東 秀憲	1	
				予習 資料を読んでおくこと				
				復習 課題の作成				
7	R7.11.25	火	II	粉体工学②	講義・演習	東 秀憲	1	
				予習 資料を読んでおくこと				
				復習 課題の作成				
8	R7.12.9	火	II	化学工学総合演習	総合演習	石田尾 徹		
				予習 これまでの課題の見直し				
				復習 総合演習の見直し				